

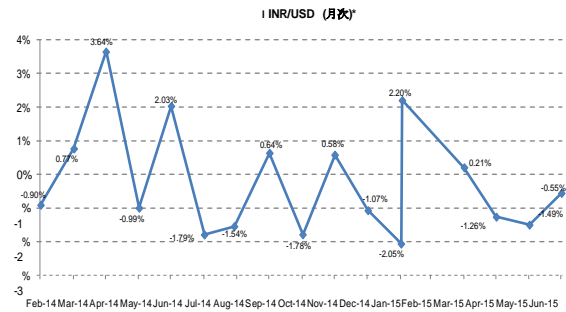
1年間の BRICS 業績比較*

インドの SENSEX は BRICS で 2 位に (1 年間)



降順で表示 (2014年6月30日～2015年6月30日) : SHCOMP (上海総合指数)、INDEXCF (MICEX モスクワ証券取引指数)、BSE Sensex (ボンベイ証券取引所) & IBOVESPA (ブラジルサンパウロ証券取引所)

INR/USD チャート (2014年1月～2015年6月)**



*出典：ブルームバーグ

** S&P

国内機関投資家は 2013 年以来最高額を投入

DII (国内機関投資家) は積極的に押し目買いを行い、2013年に始まった上昇相場以来最高額 (19 億 US ドル) を投入した。DII の投資は、エクイティ・スキームへ多く投入されていた MF (15 億 US ドル) からのものが多い。

ギリシャ危機がインド経済へ影響を及ぼす可能性は低い

ギリシャの債券危機の深刻化およびギリシャのユーロ圏離脱に関する論議は、グローバルなリスクオフ環境の引き金となった (新興国市場および先進国市場のエクイティは、平均でそれぞれ 2.2% と 2.9% 下落)。一方、インドの業績は横ばいとどまる。他の新興国市場と比較してマクロ経済指標が良好だったことは、インドのエクイティの回復力につながった。インドは問題となっている地中海の島との関わりが少ないため、ギリシャ危機がインド経済へ及ぼす影響は全くないと考えられる。インドの成長のほとんどは内需によるものであり、今後も成長は上向きになるとみられている。多国間機関の多くが、インドが 7~8% の範囲で成長していくと予測。インド準備銀行のラグラム・ラジャン総裁は、ギリシャ危機に関連したあらゆる影響をインド経済が切り抜けることができると述べている。3550 億 US ドルの外貨準備金も、起こりうる影響に対する緩和剤としての役割を果たす。

インドの経常赤字は減少

インドの経常赤字は第 3 四半期に 84 億 US ドル (GDP の 1.6%) であったのに対し、第 4 四半期には、15 億 US ドル (GDP の 0.2%) に縮小。第 4 四半期の経常赤字の縮小は、貿易赤字が低かったことが主な理由となっている。貿易赤字は第 3 四半期の 390 億 US ドルから第 4 四半期は 317 億 US ドルへと縮小。これは、輸出の前四半期比 (-10%) に対し、輸入の前四半期比 (-13%) が縮小したことが原因である。年間ベースでは、貿易赤字が低かったこと (2014 年度の 1470 億 US ドルに対し 2015 年度は 1440 億 US ドル) と貿易外収支の経常黒字がやや高かったこと (1150 億 US ドルに対し、1160 億 US ドル) を背景に、経常赤字が改善している。

世界銀行は、今年がインドが最も急成長する主要経済であると予測

世界銀行は、インドの成長率を以前の予測である 6.4% よりも高い 7.5% と予測し、インドが今年最も急成長する主要経済であるとの考えを示している。インドは、世界銀行が予測を高めた数少ない国の一つとなっている。Ohnsorge は、インドが「優れた政策と運の両方」の恩恵を受けていると述べている。ナレンドラ・モディ政権は安価な石油を利用して、費用のかかる燃料助成金を徐々に廃止し、利益を確保。インド準備銀行のラグラム・ラジャン総裁は、より信頼性の高い対インフレ体制の確立を目指した。世界銀行は、インドが 2016 年および 2017 年にも引き続き中国を上回ると予測。Ohnsorge は、インドを「期待の星だ」とし、「石油価格の低下からインドは多くを享受している」と述べている。

モンスーンの波に乗るインド

待望のモンスーンは、インドのほぼ全域に拡大。豪雨によりシーズンの雨量は 4pt 上昇して 28% となり、貯水池にはこの時期の通常貯水量より 46% 多い水が貯まっている。モンスーンが激しくなり、インドの多くの地域に大雨をもたらしたため、雨量は通常水準のほぼ倍となった。モンスーンにより、農業が促進されて豊作となり、その結果野菜、穀物、生活必需品の価格も低下。また、いくつかの商品についての輸出禁止も解かれ、国の輸入品依存も減少。投資家にとっては、通常のモンスーンは株式市場や経済全体へ好影響を与える。

CPI&インフレ

5月のCPIは前年比5%で、4月の4.87%より微増。5月のインフレは、穏やかな物価圧力により、コンセンサス予想より低くなった。コアCPIは、4月の4.26%より上がり、4.64%となった。価格モーメンタムは、前月比0.7%に引き上げられ、過去9か月間で最も高くなった。野菜、穀物、牛乳の高価格に追従して、食品指標は上昇(前月比0.8%)。季節外れの雨により、食品価格は上昇。運輸および通信指標は、ガソリンや燃料価格の高騰を受けて急騰し、コアモーメンタムは、前月比0.7%に急騰した。

UTI International (Singapore) Private Limited (以下「UTI IS」)は、シンガポール金融庁(MAS)の規制を受け、資本市場サービスライセンスを保有し、ファンドマネジメントに関する規制対象業務を行っています。UTI IS は、このようなレポートの完全性や正確性に関して、一切の責任を負わないものとします。レポートは、株式のオファーに相当するものではなく、推奨、意見の主張、広告でもありません。ステートメントの内容は、特別な目的、金融機関やこのステートメントを受け取る特定の人のための特別なニーズに関係なく、情報提供のみを目的としており、そのような人には、ファンドの株式の購入契約を行う前に、金融アドバイザーからのアドバイスを求めることをお勧めします。もしそのような人がそのようなことを行わなかった場合、その人はその投資が自分に適しているかどうかを慎重に考慮すべきです。ここで述べられているファンドの過去の業績は、将来的な業績を示唆しているとは限りません。

ここで説明されているファンドは、シンガポール金融庁(以下「MAS」)によって認められた制限された計画であり、機関投資家(用語は証券先物法(第 289 条)(以下「SFA」)で定義されている)および適格投資家(用語は証券先物法(第 289 条)(以下「SFA」)で定義されている)にのみ提供または販売されています。免責金融アドバイザーとして、UTI IS は、FAA の下、規則 33、34、35、36 または金融アドバイザー法(以下「FAR」)の他の規則に従って、「機関投資家」「適格投資家」「海外投資家」「シンガポール国民ではない」「シンガポール永住者ではない」「シンガポール国民または永住者に全てまたは一部依存していない」シンガポール国外に住む個人、またその他の例としては、シンガポールに商業拠点を置いていないまたは物理的に所在していない人)に関して対象となる免責に基づくことができます。

www.utifunds.com にアクセスしてください